



SPORT FOR  
**every  
one**

2012年8月24日  
日本体育学会第63回大会  
口頭発表② 07発24口05

# 幼保別にみた子どもの運動・スポーツ、運動あそびの実態

—子どもの運動・スポーツ活動に関する全国調査2011から—

○武長 理栄(笹川スポーツ財団),工藤 保子(笹川スポーツ財団)  
海老原 修(横浜国立大学)

# 研究目的

我が国における急速な少子化の進行や家庭及び地域を取り巻く環境の変化に伴い、就学前の子どもの教育や保育に対するニーズは多様化し、包括的・一元的な子育て支援システムの構築が検討されている。保護者の就業の有無や家庭の状況により子どもの生活環境も異なると考えられ、幼保の観点で子どもの運動・スポーツ、運動あそびの実態を把握することは重要である。

また、幼児期から児童期にかけての子どもの運動・スポーツ実施状況を縦断的に把握するため、笹川スポーツ財団では、2009年より4歳児から9歳児の運動・スポーツ実施状況と保護者の運動・スポーツ参与に関する質問紙調査を実施している。

本研究は、2011年「子どもの運動・スポーツ活動に関する全国調査」を2次分析し、幼稚園・保育園別に子どもの運動・スポーツや運動あそびの実施状況、保護者との運動・スポーツ実施の状況を明らかにすることを目的とした。



# 研究方法



## 笹川スポーツ財団「子どもの運動・スポーツ活動に関する全国調査」

### ◆対象:

- (1)母集団:全国の市区町村に在住する4歳から9歳の男女
- (2)抽出方法:層化二段無作為抽出法
- (3)地点数:市部180地点, 郡部20地点, 合計200地点
- (4)標本数:1,800人

### ◆方法:

訪問留置法による質問紙調査(個別聴取法併用)

### ◆期間:

2011年9月9日～10月6日



# 研究方法



## ◆内容:

### (1)子ども対象

運動・スポーツ実施種目, 運動・スポーツ実施率, スポーツ施設の利用状況, スポーツクラブ等の組織への加入状況, スポーツ指導者の有無, ローレル指数, 習いごとの実施状況 等

### (2)保護者対象

同居家族とスポーツ活動の有無, 親子で運動・スポーツをする頻度, 子どもの運動・スポーツ参加への期待, 子どもの体力の主観的評価, 運動・スポーツ, 運動あそびに対する意識や態度, 1ヶ月のスポーツ関連支出, 世帯年収 等

# 研究方法



## ◆回収結果:

有効回収数(率) 1,257(69.8%)

## ◆「運動・スポーツ」の定義:

幼稚園・保育園・学校の休み時間の活動は含めるが、園・学校の授業やマラソン大会等の行事は含めない。

## ◆分析方法:

笹川スポーツ財団「子どもの運動・スポーツ活動に関する全国調査」で取得したデータのうち、幼児(未就学児)とその保護者を対象とした回答を抽出した。ただし、保護者の回答は父親および母親に限定し、父親または母親どちらかの回答があれば有効とした。

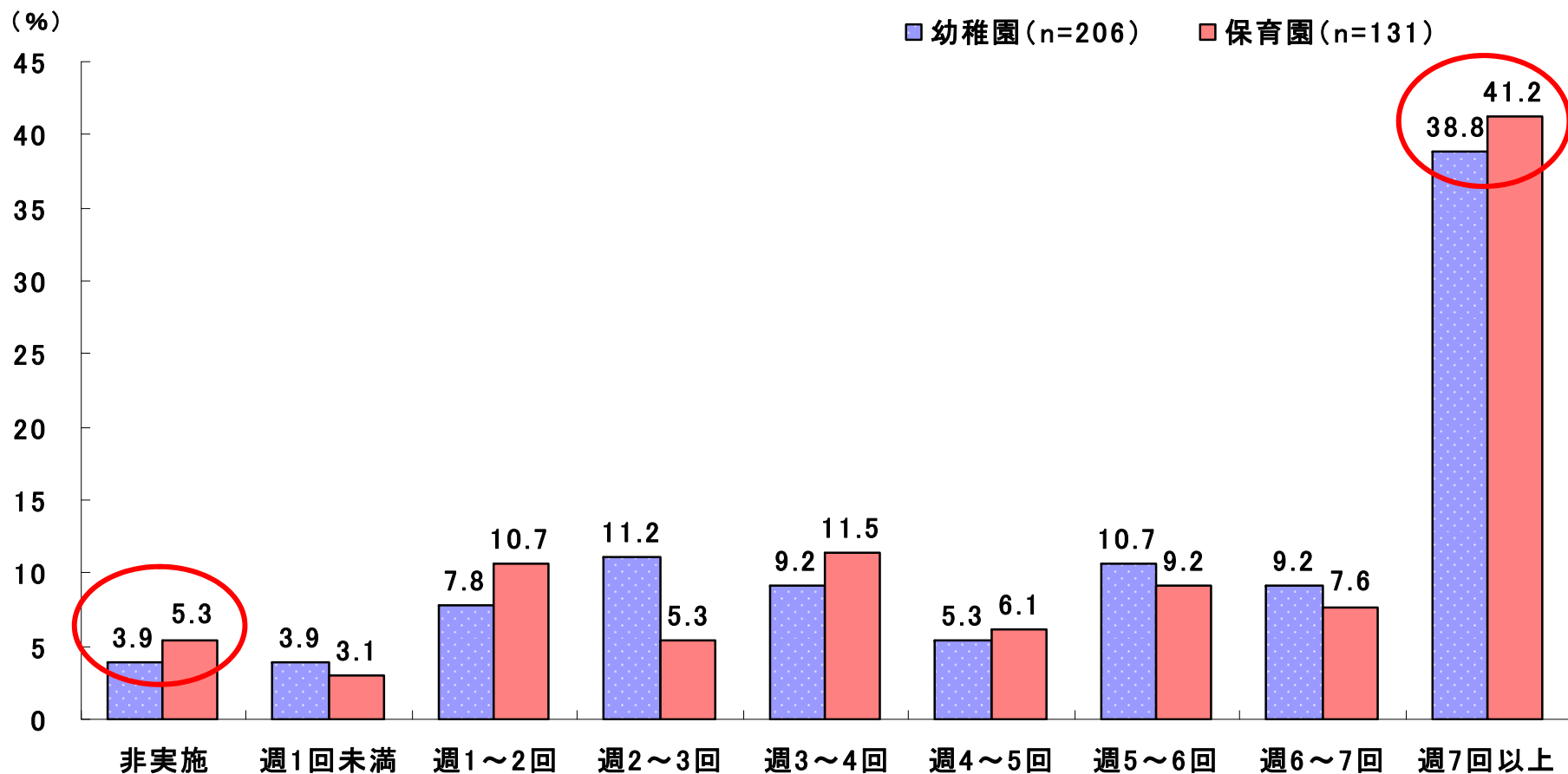


# サンプル数と属性



## サンプル数と属性(性・種別×年齢)

		n(%)			
		全体	4歳	5歳	6歳
全体		337(100.0)	72(21.4)	164(48.7)	101(30.0)
性別	男子	150(44.5)	36(24.0)	65(43.3)	49(32.7)
	女子	187(55.5)	36(19.3)	99(52.9)	52(27.8)
種別	幼稚園	206(61.1)	43(20.9)	103(50.0)	60(29.1)
	保育園	131(38.9)	29(22.1)	61(46.6)	41(31.3)



## 運動・スポーツ実施頻度分布

# 運動・スポーツ 実施頻度群

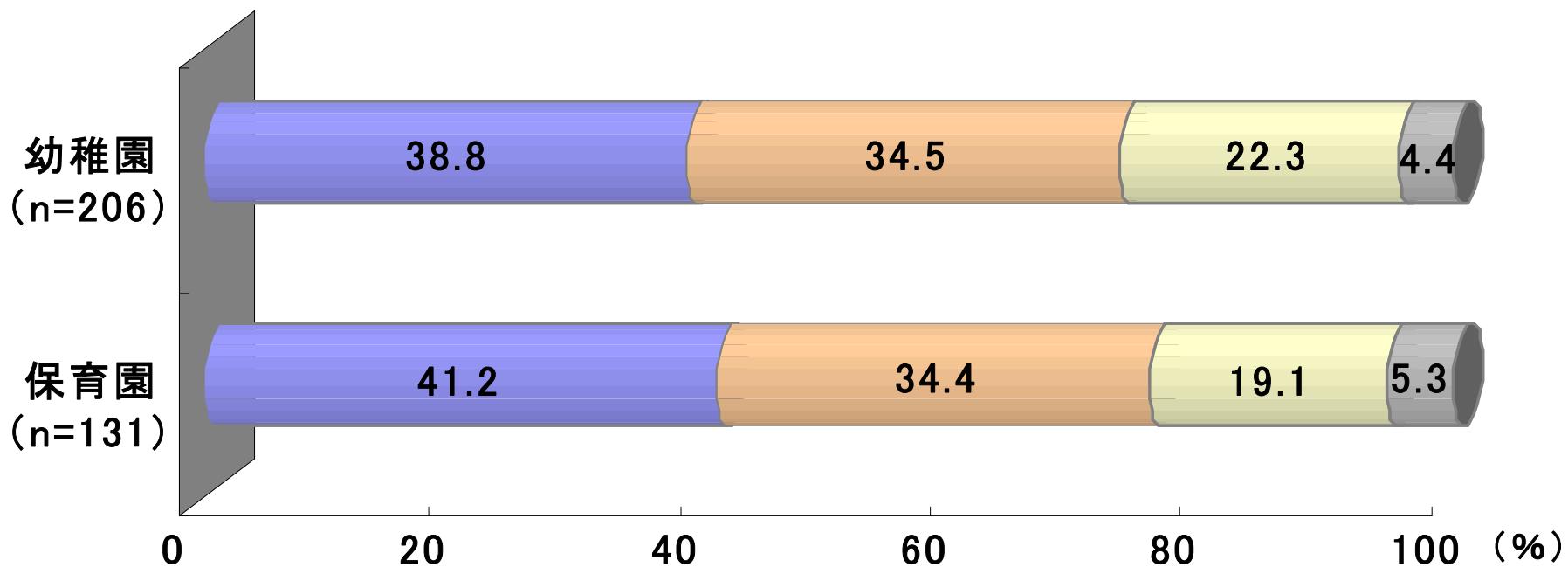


## 運動・スポーツ実施頻度群の分類基準

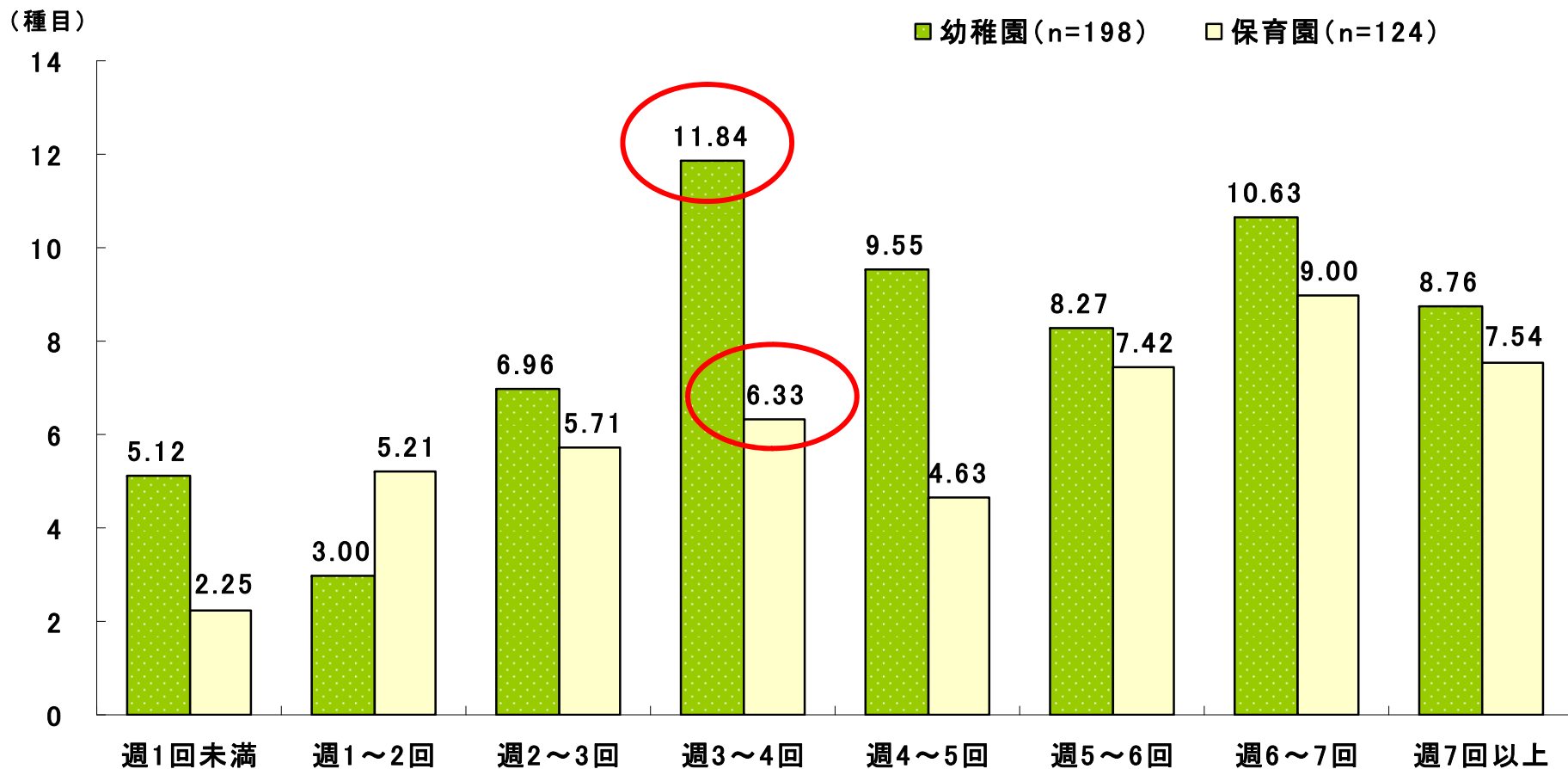
実施頻度群	基準
非実施群	非実施(0回／年)
低頻度群	年1回以上週3回未満(1～155回／年)
中頻度群	週3回以上週7回未満(156～363回／年)
高頻度群	週7回以上(364回以上／年)



■ 高頻度群 ■ 中頻度群 ■ 低頻度群 ■ 非実施群

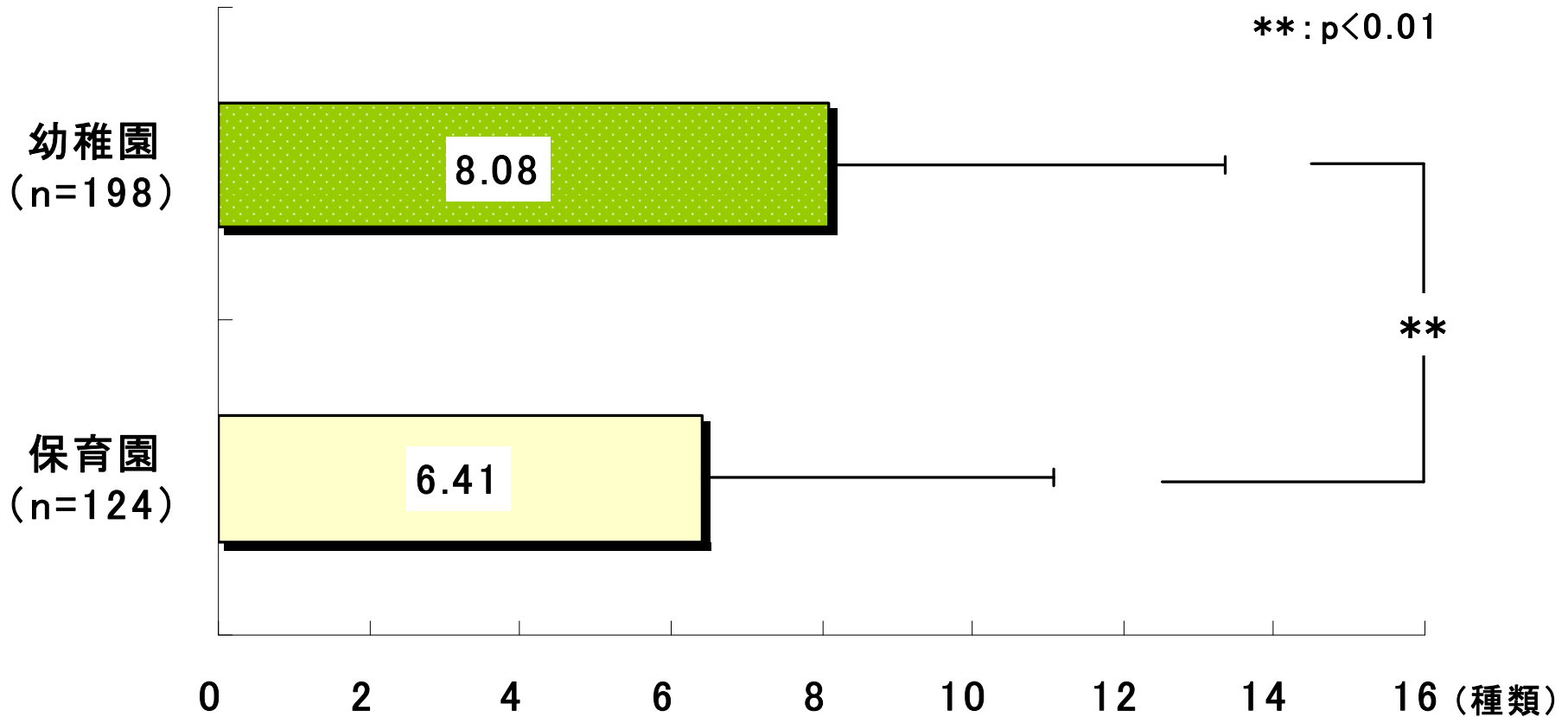


## 運動・スポーツ実施頻度群



\* 過去1年間に1回以上行った運動・スポーツ種目

## 運動・スポーツ実施種目数の平均値(頻度別)



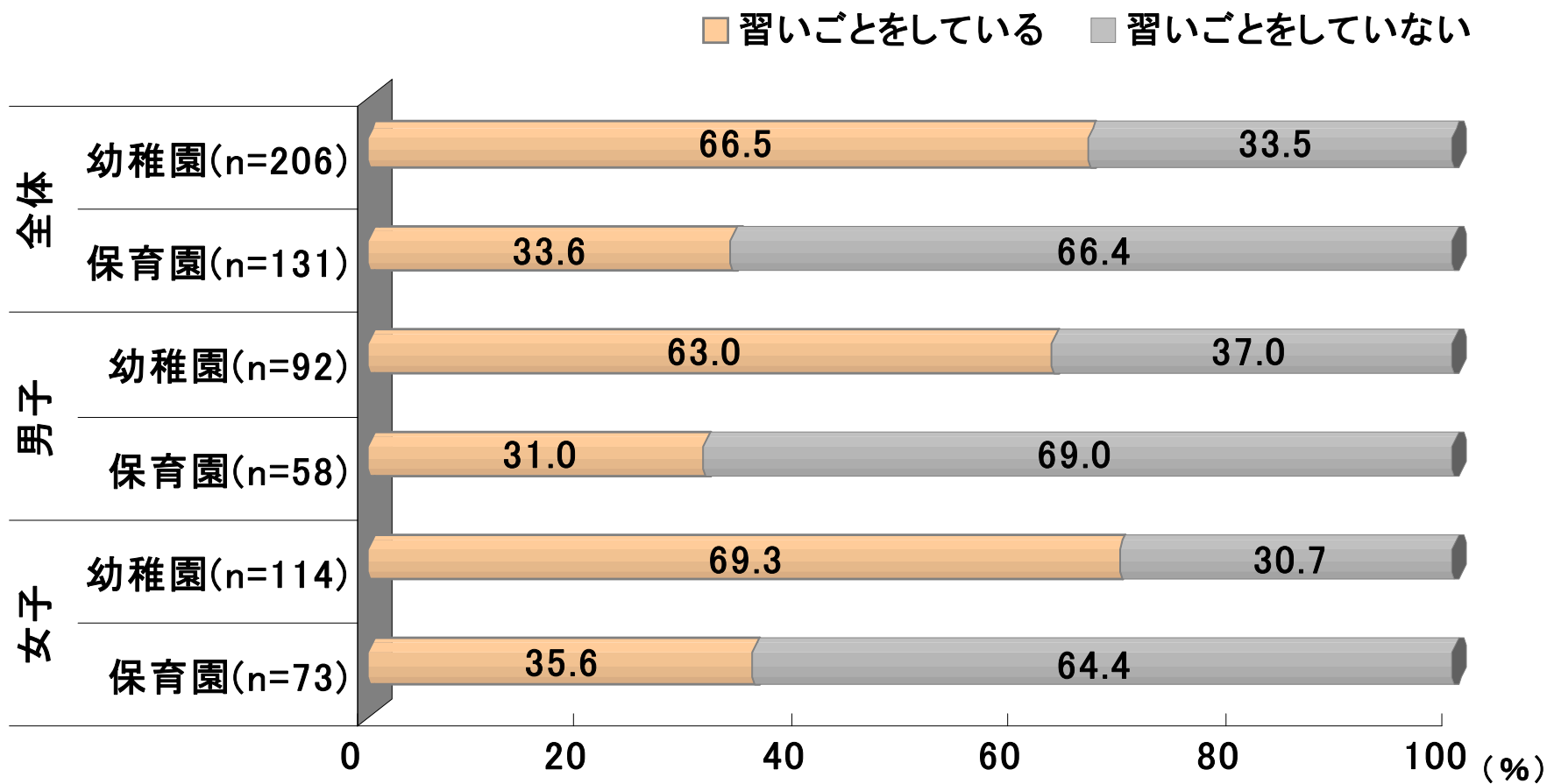
\* 過去1年間に1回以上行った運動・スポーツ種目

## 運動・スポーツ実施種目数の平均値

# 過去1年間に「よく行った」運動・スポーツ種目（複数回答）

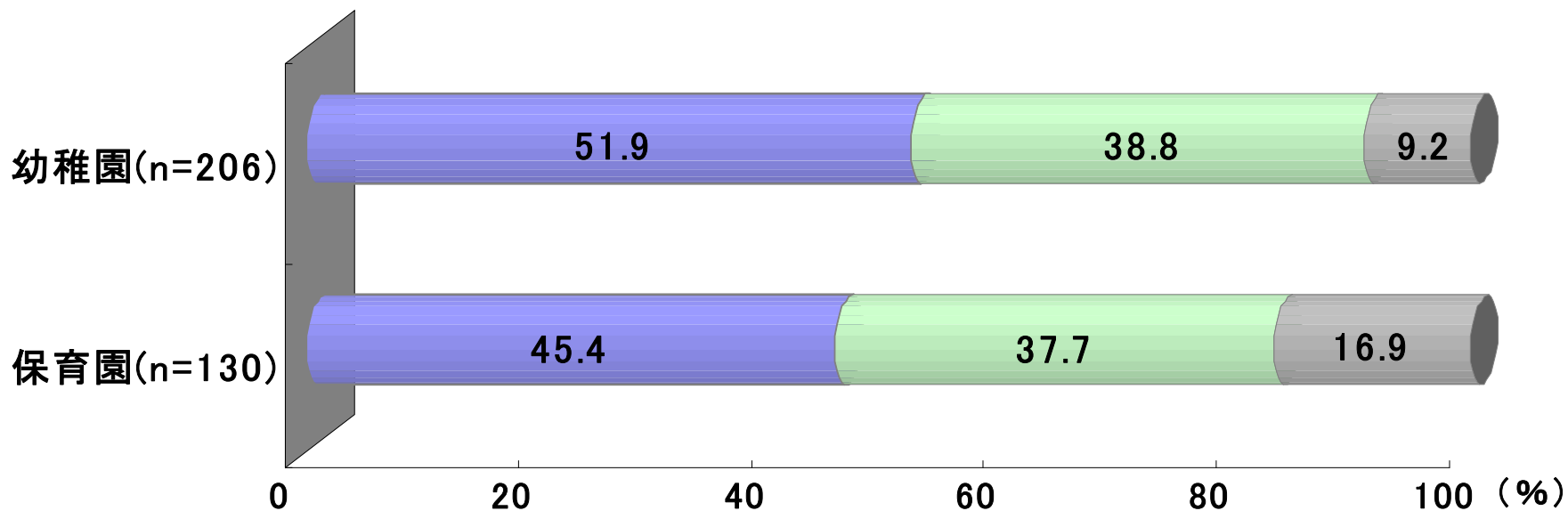
(%)

順位	幼稚園 (n=197)		順位	保育園 (n=124)	
1	おにごっこ	37.1	1	おにごっこ	39.5
2	ぶらんこ	33.5	2	ぶらんこ	35.5
3	自転車あそび	32.5	3	自転車あそび	26.6
4	水泳(スイミング)	26.9		かけっこ	26.6
5	かけっこ	22.3	5	水泳(スイミング)	22.6
6	鉄棒	19.8	6	なわとび(長なわとびを含む)	19.4
7	なわとび(長なわとびを含む)	18.3	7	かくれんぼ	18.5
8	かくれんぼ	16.2		サッカー	18.5
9	サッカー	14.7	9	鉄棒	13.7
10	体操	12.7	10	体操	9.7
11	バレエ	3.0	11	キックボード	4.0
	空手	3.0	12	キャッチボール	3.2
	体操競技	3.0		海水浴	3.2
14	キックボード	2.5	14	ドッジボール	2.4
	キャッチボール	2.5		フラフープ	2.4
	ドッジボール	2.5		竹馬	2.4
17	ジャズダンス	2.0	17	ウォーキング	1.6
	一輪車	2.0		スノーボード	1.6
18	ウォーキング	1.5	17	そり	1.6
	体操(軽い体操・ラジオ体操など)	1.5		トランポリン	1.6
	野球	1.5		三輪車	1.6



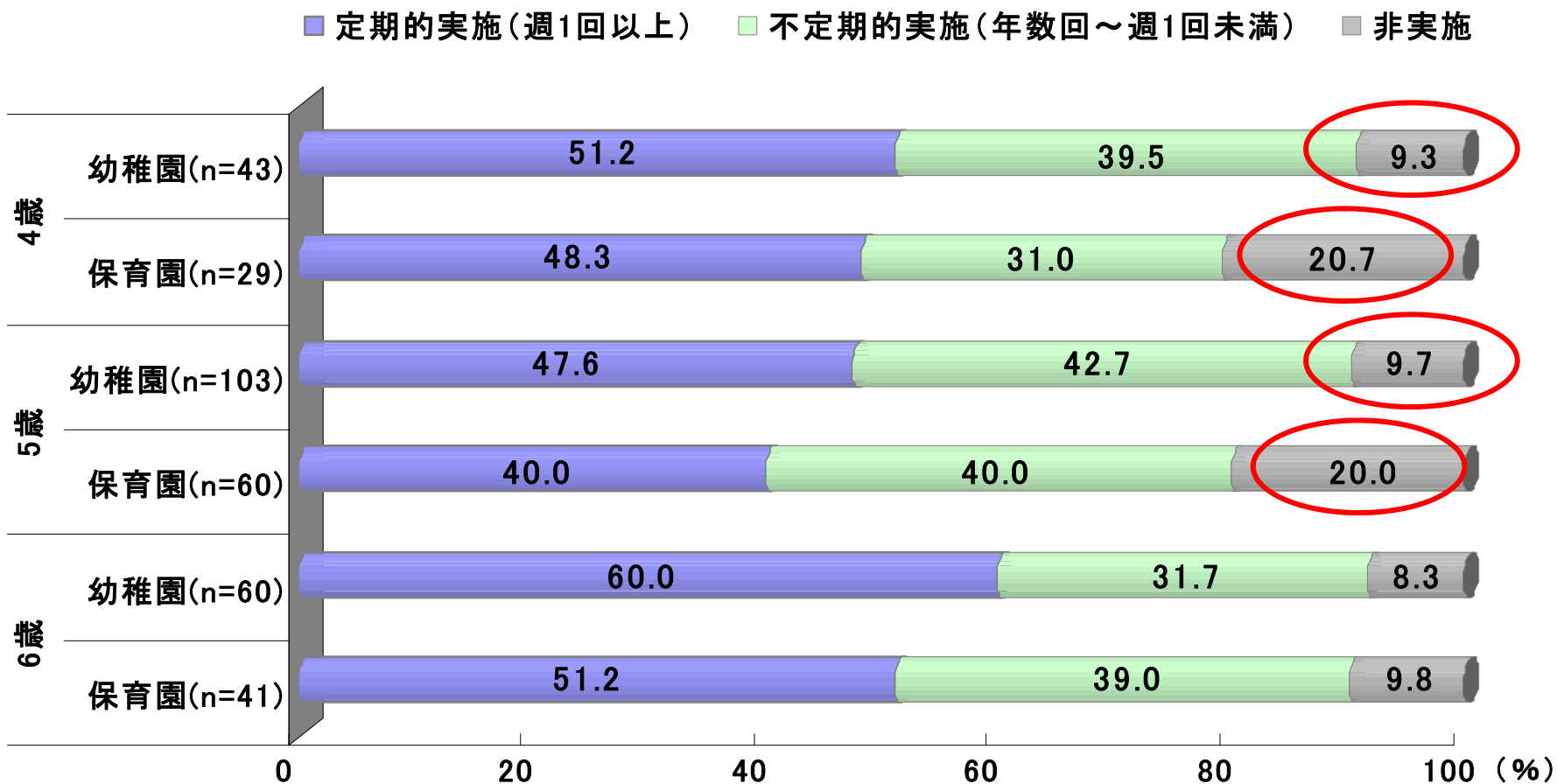
## 習いごとの実施率(全体・性別)

■ 定期的実施(週1回以上) ■ 不定期的実施(年数回～週1回未満) ■ 非実施



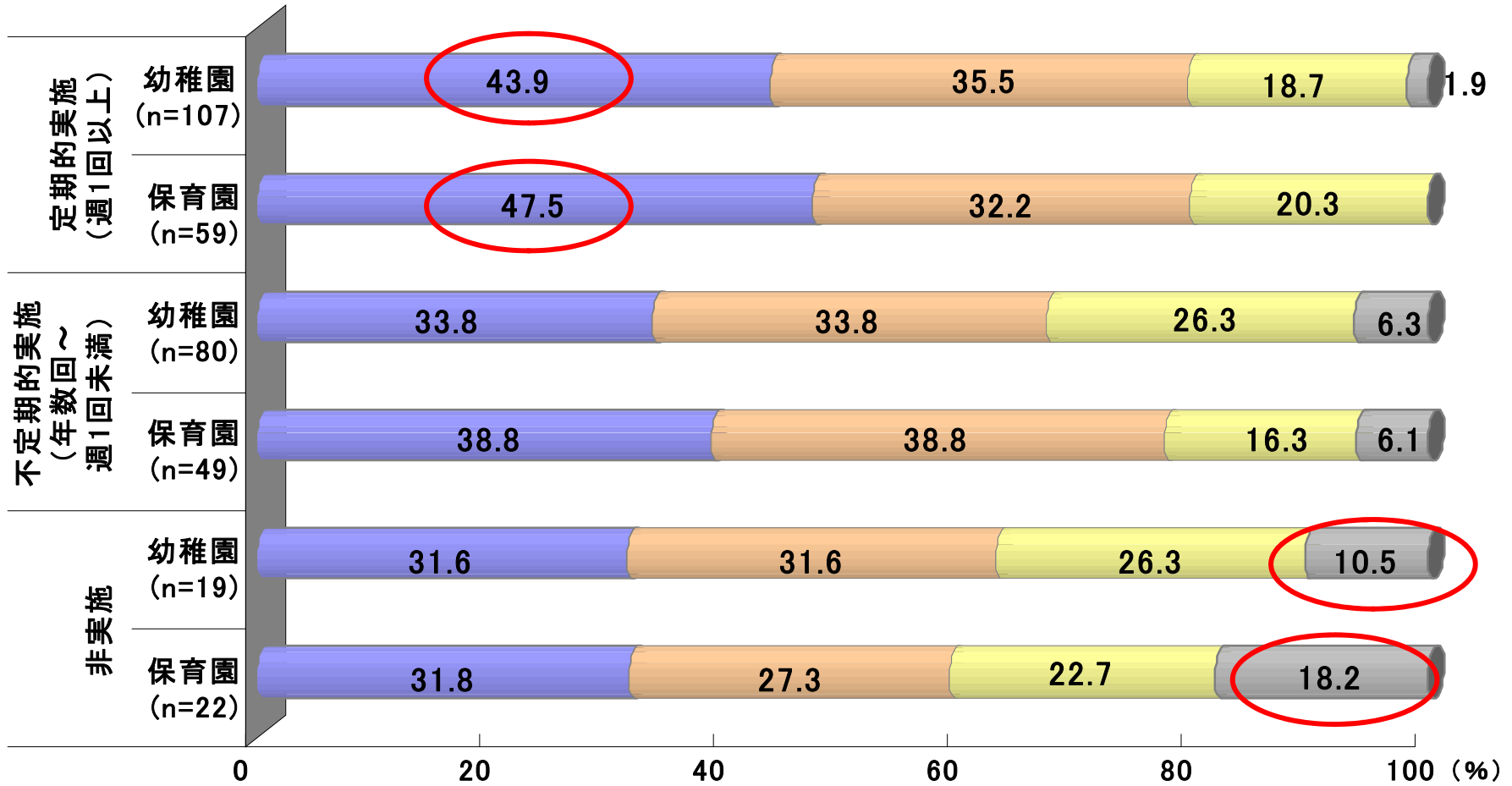
## 親子で一緒に運動・スポーツをする頻度





## 親子で一緒に運動・スポーツをする頻度(年齢別)

■ 高頻度群 ■ 中頻度群 ■ 低頻度群 ■ 非実施群



## 親子での運動・スポーツ実施頻度 × 子どもの運動・スポーツ実施頻度群

# 要約



1. 子どもの運動・スポーツ実施頻度をみると、1年間に全く行わない非実施の割合は、幼稚園に比べて保育園のほうが高いことが示されたが、実施頻度に基づいて4つの運動・スポーツ実施頻度群に分類した場合、幼稚園と保育園にあまり違いはみられなかった。
2. 運動・スポーツ実施種目数の平均値をみると、幼稚園8.08種目、保育園6.41種目と、保育園に比べて幼稚園の子どもの種目数のほうが多く、1%水準で統計的に有意な差が認められた。
3. 親子で一緒に運動・スポーツをする頻度においては、1年間にまったくしなかった非実施の割合は幼稚園が9.2%、保育園が16.9%と保育園のほうが高く、年齢別にみると4歳と5歳においてその差は10ポイント以上となる結果が示された。

